

第92回 火力専門委員会 材料分科会 議事録

I. 日 時: 2019年2月18日(月) 13時30分～15時40分

II. 場 所: 日本機械学会 第3・4会議室

III. 出席者: 伊藤 (IHI)、西川(NIMS)、吉田 (東電FP)、森 (新日鐵住金)、菊原 (MHPS 呉)、
俣野 (KHI)、長谷川 (発電技検) 芝 (関電)、鯉江 (中部電力)

オブザーバー: なし

欠席: なし

事務局: 原

IV. 配付資料

92-1 第91回材料分科会議事録(案)

92-2 材料分科会委員名簿

92-3 第86回火力専門委員会議事録(案)

92-4 第41回材料専門委員会議事録(案)

92-5 第88回発電用設備規格委員会議事録(案)

92-6 火力専門委員会書面投票No.80(第Ⅲ章 ボイラ 意見対応による修正案)結果報告

92-7 規格委員会書面投票No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂提案)結果報告

92-8 Alloy141の規格化について

92-9 その他報告

92-10 規格委員会書面投票No.410(第Ⅱ章 材料 改訂提案)の投票意見と対応案

92-12 審議履歴表

V. 議 事

1. 前回議事録確認

【資料 92-1】

前回議事録(案)について確認を行ない、議事録案は承認された。

ただし、以下の修正を行う。

① V. 3. (7) 第Ⅱ → 第Ⅱ章

② 4. (4)

・ (4) → (2)

・ ①の改行箇所を修正する。

2. 分科会委員・役員の承認

【資料 92-2】

委員の退任、新任委員候補、再任委員候補はなし。

3. 報告事項

(1) 火力専門委員会報告

【資料 92-3】

11月26日開催の第86回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○ 委員・役員の承認結果報告

○ 第91回材料分科会(11/13)報告

・ 第41回材料専門委員会報告

○ 審議結果報告

- Alloy141 の規格化の方針と、材料専門委員会に許容引張応力値などの策定依頼をすることを承認。
- 規格委員会書面投票 No.410 (第Ⅱ章 材料 改訂提案) の書面投票意見対応状況の報告。
- 規格委員会書面投票 No.399 (第Ⅵ章 非破壊検査 改訂提案) の意見対応状況の説明。
- 火力専門委員会書面投票 No.77 (第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量 改訂提案) の意見対応について、意見対応案が了解され意見対応を反映した修正案が軽微な技術的な修正として承認された。
- 火力専門委員会書面投票 No.76 (第Ⅲ章 ボイラ) の意見対応による修正案について、あらたな追加修正箇所などについて説明があった。

(2) 材料専門委員会報告

【資料 92-4】

12 月 12 日開催の第 41 回材料専門委員会の主要項目が報告された。

- JIS 材料規格のひずみ速度の独自規定のレビュー結果について
- 金属カスク構造規格における材料規格の妥当性確認結果に対するご意見伺いの扱いについて
- 次期材料専門委員会委員長に木村現材専長が再任されたことの報告

(3) 発電用設備規格委員会報告

【資料 92-5】

12 月 20 日開催の第 88 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- 火力専門委員会(11/26)の報告
- 発電用火力設備規格詳細規定Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂提案

(4) 火力専門委員会書面投票 No.80(11/27～12/27) 結果報告

【資料 92-6】

火力専門委員会書面投票：No.80 「発電用火力設備規格 詳細規定 第Ⅲ章ボイラの火専書面投票 No.76 の意見対応による修正案」の承認の火力専門委員会書面投票結果が報告された。賛成票が 2/3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。意見対応は、1 月 8 日に完了。

(5) 規格委員会書面投票 No.422(1/8 ～ 2/8) 結果報告

【資料 92-7】

発電用火力設備規格 201X 年版 詳細規定 第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂案の規格委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が 2/3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。現在、意見対応中。

(6) Alloy141 の規格化に係る材料専門委員会への依頼について

【資料 92-8】

Alloy141 の規格化に関して、材料専門委員会に許容引張応力値などの策定を依頼したことが報告された。

(7) その他報告

【資料 92-9】

- 委員会のペーパーレス化

昨年 11 月に開催された規格委員会幹事会において、委員会のペーパーレス化を進めていく方針が確認されたことが報告された。また、12 月 20 開催の規格委員会の午前中の部において、タブレット P C（画面 10inch 程度）を用いたペーパーレス化の試運用が行われたことが紹介された。

- 「発電用火力設備の技術基準の解釈」と発電用火力設備における高クロム鋼に対する寿命評価式についての改正に関する情報
第 18 回電力安全小委員会（H31.1.15）における本情報に関する審議資料と関連する経緯などが紹介された。

- 発電用火力設備規格の進捗状況報告

発電用火力設備規格の基本規定、詳細規定各章の改訂に係る進捗実績が報告された。

4. 審議事項

- (1) 規格委書面投票 No.410（第Ⅱ章 材料 改訂提案）の投票意見対応 [資料 92-10]
伊藤主査が、資料に基づき規格委員会書面投票 No.410（第Ⅱ章 材料 改訂提案）の投票意見の対応案に関し、前回の分科会以降に意見者に回答した対応案とその確認結果について説明した。また、意見者の了解が得られていない 1 件のご意見について、その対応案を説明し審議を行った。

意見 No.27 の意見者への回答と意見対応案を反映した修正案承認の進め方は以下のとおりとする。

- ①意見 No.27 の対応案については、各委員が過去の文献等の関連情報を調べて、分かった事項を分科会三役に連絡する。
- ②伊藤主査が来週前半に修正した意見対応案を各分科会委員に提示・確認依頼する。分科会委員の確認が得られた後、火力専門委員会三役の確認後、来週後半を目途に対応案を意見者に回答する。
- ③意見対応が完了後、意見対応を反映した修正案を 5 月末から 6 月に開催される火力専門委員会と規格委員会において、編集上の修正または軽微な技術的な修正として承認を得る。
意見対応を反映した修正案の作成作業は、意見対応完了後に伊藤主査が各委員にメールにて依頼する。意見対応を反映した修正案は、次回の分科会（5 月 9 日（木））において確認する。

Ⅵ. 次回開催予定

日 時 : 2019 年 5 月 9 日（木）13:30~17:00
場 所 : 日本機械学会 第 3・4 会議室

以 上